

科目名	日本事情		英文表記	Japanese Circumstances		2015/3/6		
科目コード	3015							
教員名： 島袋 政和 技術職員名：						作成		
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科			3年	選	履修	2単位	講義	通年
科目目標	簡潔で説得力ある表現力を身につけてコミュニケーション能力を高め、相互評価も取り入れた発表活動とレポート作成ができるようにする。日本語による情報を統合し、歴史・文化への理解を深め、記述する。							
総合評価	前期・後期評価：半期に1回の口頭発表と、2回の校外体験学習レポート、および各期末の発表レポートを課し、口頭発表(50%)＋レポート(50%)の評点により評価する。 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。							
科目目標達成度	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック				
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック	
	40%	① 「日本事情」の講義内容は、日本の歴史・地理・文化・経済・政治等、各学問の重要な問題をテーマにしている。したがって、ごく限られた時間でこれらの問題について理解を深めることは困難なことだと思われる。このため、講義では身近な事例、資料やデータを提示し、(特に留学生の故国の類似事例を挙げてディスカッションを通じて)諸課題について理解を深める。	定期テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する。	「良」や「可」に比べ、各分野の課題を指摘し、よく理解できる。	各分野の課題を理解することができる。	基礎的な漢字や「主語・目的語・動詞」の文型でレポートを書くことができる。		
	30%	② 各分野の講義で度々ディスカッションを取り入れることにより、(例えば、各学生の故国の文化と日本文化をディスカッションを通じて、それぞれの故国の文化の独自性や日本文化との類似性等を見出すことにより)日本についての理解を深める。	定期テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する。	「良」や「可」に比べ、データを駆使し、他分野との関連性や課題を見出して良く理解できる。	課題の中で、用語の適切な使用や他分野との関連性等を理解できる。	例えば、東京・奈良や広島等歴史的に重要な都市や憲法の基本的な内容、地震多発地等を理解できる。		
30%	③ 各分野の講義で度々ディスカッションを取り入れることにより、(例えば、各学生の故国の文化と日本文化をディスカッションを通じて、それぞれの故国の文化の独自性や日本文化との類似性等を見出すことにより)日本についての理解を深める。	定期テスト・レポート・ディスカッション等によって評価する。	各分野の課題を適切に指摘し、問題の原因や究明方法を意欲的に見出す姿勢がうかがわれる。	各分野の基本的な知識を身につけているので、ディスカッションにおいても意欲的に発言し、課題を良く理解できる。	ディスカッションのなかで意欲的な学習意欲が見られ、それぞれの分野の基礎的な用語等も理解できる。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4				
	○	◎		○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	

評価項目		0	0	50	50	100	
基礎的理解				30		30	
応用力(実践・専門・融合)				20		20	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					50	50	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	日本と地元沖縄の地理・歴史・社会・文化について理解を深め、日本語で情報収集・報告発表・レポート作成・会話ができるようになる。 調べ学習などの課題もあり、レポートを課す。”						
教科書・教材	適宜資料を配布する。また、調べ学習ではウェブサイトや図書館を利用して情報を集める。						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	コースインフォメーション	2	内容・レポート発表等について	プリント	
2	日本の地理概観	2	日本の地理的位置や主な都市名	プリント復習	
3	日本の地理概観	2	日本の都道府県名や自然・名所	プリント復習	
4	日本の特殊な地理的位置	2	気候・自身	プリント復習	
5	日本の歴史①	2	江戸時代(19世紀)	プリント復習	
6	日本の歴史②	2	江戸時代(19世紀)	プリント復習	
7	日本の歴史③	2	明治時代	プリント復習	
8	日本の歴史⑤	2	大正～1945年	プリント復習	
9	沖縄の歴史概観①	2	1945年～廃藩置県	プリント復習	
10	沖縄の歴史概観②	2	廃藩置県～	プリント復習	
11	沖縄の歴史概観③	2	1945年～	プリント復習	
12	日本の文化概観	2	室町時代～	レポート準備	
13	日本の文化実習	2	書道・囲碁等	実習	
14	沖縄の文化実習	2	舞踊	実習	
15	1学期の総まとめ	2	発表・討論	レポート準備	
期末	期末試験	[2]			
16	日本の産業概観	2	戦後日本の経済紙	プリント復習	
17	日本の産業概観	2	産業構造・エネルギー	プリント復習	
18	日本の産業概観	2	プラザ合意以後の経済	プリント復習	
19	日本の産業問題	2	アベノミクス	プリント復習	
20	日本の人口問題	2	少子化・高齢化問題	レポート準備	
21	日本の人口問題	2	産業と人工の問題	プリント復習	
22	日本の社会保障	2	年金・保険と少子化社会	プリント学習	
23	日本の憲法概観	2	明治憲法と日本国憲法	プリント学習	
24	日本の憲法概観	2	象徴天皇と国民主権①	プリント学習	
25	日本の憲法概観	2	象徴天皇と国民主権②	プリント学習	
26	日本の憲法概観	2	平和主義	プリント学習	
27	日本の憲法概観	2	基本的人権	プリント学習	
28	日本の憲法概観	2	他国の憲法との比較	プリント学習	
29	日本の憲法まとめ	2	発表演習・討論	レポート準備	
30	1年の総まとめ	2	発表演習・討論	レポート準備	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	授業で扱ったテーマについて発展的に調べ考察する。			各1時間× 回	
②	校外・体験学習で修得した項目についてレポートを作成する。			各2時間× 回	
③	自分で選んだテーマについて発表活動をし、レポートを作成する。			各5時間× 回	
備考欄					